

2017年11月22日

各 位

帝國製薬株式会社  
田辺三菱製薬株式会社

**新しい作用機序をもつアレルギー性疾患治療剤  
DUAL作用（抗PAF作用と抗ヒスタミン作用）で強力な効果を発揮  
「ルパフィン<sup>®</sup>錠10mg」発売のお知らせ**

帝國製薬株式会社（本社：香川県東かがわ市、代表取締役社長：藤岡 実佐子、以下「帝國製薬」）と田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：三津家 正之、以下「田辺三菱製薬」）は、アレルギー性疾患治療剤「ルパフィン<sup>®</sup>錠 10mg」（一般名：ルパタジンフマル酸塩）について、11月22日に薬価基準に収載されたことを受け、11月27日に発売しますのでお知らせいたします。

ルパフィン<sup>®</sup>錠は、抗ヒスタミン作用に加え、抗PAF（platelet activating factor：血小板活性化因子）作用を併せ持つ、新しい作用機序の経口アレルギー性疾患治療剤です。ヒスタミンはアレルギー反応を引き起こす化学伝達物質としてよく知られていますが、PAFも血管拡張や血管透過性の亢進、知覚神経刺激、白血球の活性化などを誘導することで、くしゃみや鼻水、鼻閉などの症状を引き起こすなど、アレルギー性疾患の病態に深く関与しています。ルパフィン<sup>®</sup>錠は、これら2つの化学伝達物質を抑える、DUAL作用（抗PAF作用と抗ヒスタミン作用）によって強力な効果を発揮し、アレルギー性疾患における症状を抑制します。

本剤は、スペインのユリアック社（J. Uriach Y COMPANIA, S.A.）が創製し、2017年11月現在、世界80カ国以上で承認されています。海外では、アレルギー性鼻炎および蕁麻疹を適応症とし、その用法・用量は1日1回10mgを経口投与となっています。日本国内では、2014年5月、帝國製薬がユリアック社との間で本剤の開発・販売に関するライセンス契約を締結し、単独で開発を進めてきました。

帝國製薬と田辺三菱製薬は、2016年10月、ルパフィン<sup>®</sup>錠の販売提携における基本契約を締結しており、本剤の発売に際し、帝國製薬が田辺三菱製薬に製品を供給し、田辺三菱製薬が流通・販売を行います。また、医療機関への情報提供活動については、両社共同で実施します。

本件に関するお問合せ先	
帝國製薬株式会社 総務部 TEL：03-3661-3331	田辺三菱製薬株式会社 広報部 報道関係者の皆様 TEL：06-6205-5119 株式市場関係者の皆様 TEL：06-6205-5110

## 「ルパフィン®錠 10mg」の製品概要



販売名	ルパフィン®錠 10mg (RUPAFIN® Tablets)		
一般名	ルパタジンフマル酸塩錠		
効能・効果	アレルギー性鼻炎 蕁麻疹 皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒		
用法・用量	通常、12歳以上の小児及び成人にはルパタジンとして1回10mgを1日1回経口投与する。 なお、症状に応じて、ルパタジンとして1回20mgに増量できる。		
包装	ルパフィン錠 10mg	100錠（10錠×10） PTP 280錠（14錠×20） PTP 500錠（10錠×50） PTP	
薬価	10mg 1錠	69.40円	
製造販売承認日	2017年9月27日		
薬価基準収載日	2017年11月22日		
発売日	2017年11月27日		
製造販売元	帝國製薬株式会社		
販売元	田辺三菱製薬株式会社		